

第10回とちぎ地域・自治フォーラム

自助・共助強制の「地域共生社会」でどうなる社会保障

～2018年度医療・介護保険制度改革を前に～

安倍政権は、社会保障における公的責任を投げ捨てて自助・自立を強制する「地域共生社会」の実現を目指しています。その中で、栃木県は2016年3月病床数削減や機能分化などを内容とする地域医療構想を策定しました。2018年度は、医療保険制度、介護保険制度の同時改定が行われ、医療費や保険料等の負担増による住民生活への影響は必死となっています。

今回のフォーラムでは、安倍政権の目指す「地域共生社会」のねらいと、地域医療構想、2018年度社会保障制度改革の内容を学びつつ、住民とともに取り組む地域での運動の課題や自治体の役割について考えます。



❖と き 2018年2月4日(日) 13:30～16:30

■ 第1部 講演

❖講演①「医療保険・介護保険制度改革と地域・自治体の課題」

講師 芝田英昭氏(立教大学コミュニティ福祉学部教授)

❖講演②「地域医療構想でどうなる栃木の医療・介護」

講師 太田正氏(作新学院大学名誉教授、とちぎ地域・自治研究所副理事長)

■ 第2部 会場からの報告と討論 (コディネーター) 太田正氏

❖ところ 栃本市国府公民館

(栃本市惣社町 228-1 TEL 27-3002)

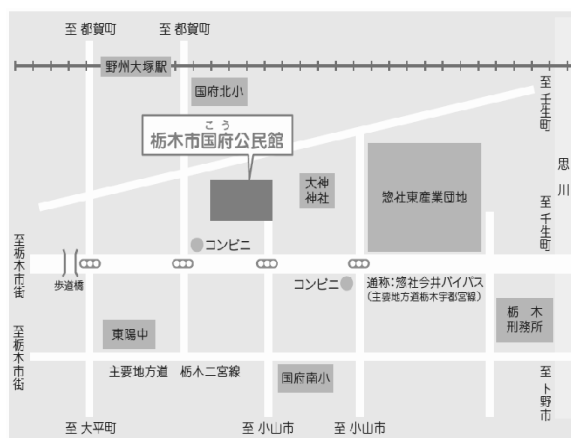
❖資料代 1,000円(学生500円)

主催 とちぎ地域・自治研究所

〒321-0218 壬生町落合1-15-5 ポラーノどんぐり103号

TEL・FAX 0282-83-5060 E-mail support@tochigi-jichiken.jp

ホームページ <http://tochigi-jichiken.jp>



第10回とちぎ地域・自治フォーラム参加申込書 (上記連絡先あて、Fax又はE-mailで)

氏名	住所	電話番号	所属・団体等